

法律論叢第 95 卷 1 号

2022 年 7 月 29 日刊行

掲 載 内 容	(頁数)
【論 説】	
ドイツにおける臨死介助法案について	……………石 居 圭 (1)
ドイツにおける法学上の企業評価論	……………泉 田 栄 一 (33)
私法規律の構造 4 ——改正契約債権法の基本的規律構造 (12) ——	……………伊 藤 進 (77)
新型コロナウイルスと刑法：コロナ・トリアージについて (下)	……………川 口 浩 一 (119)
オーストリア民事訴訟における真実義務及びその周辺領域について ——真実義務の実効性に関する序論的考察——	……………鈴 木 拓 也 (141)
損害保険における保険事故招致免責規定の史的変遷 (3・完) ——ドイツ法及び日本法を中心として——	……………陳 亮 (163)
ドイツ不法行為法研究 (その 4・民法典 830 条 1 項 2 文による共同関与者の責任 (Ⅱ))	……………松 村 弓 彦 (191)
唐代における王命と常典 (下) ——唐断獄律第十八條の検討を中心として——	……………岡 野 誠 (504)
【判例研究】	
貨幣用金原則の不適用と「領有権紛争」の不存在認定 インド洋海洋境界画定事件先決的抗弁判決 (モーリシャス対モルディブ) 国際海洋法裁判所・特別裁判部 2021 年 1 月 28 日	……………西 元 宏 治 (235)
民法研究会 いわゆる完全合意条項の効果と契約の解釈	……………古 谷 英 恵 (279)
商法研究会 会社法 172 条 1 項 2 号の「議決権を行使することができない株主」について ——東京地裁令和 2 年 7 月 9 日決定 LEX/DB 文献番号 25566237、資料版 商事法務 437 号 157 頁——	……………脇 黒 丸 新 太 郎 (305)
刑事法研究会「コンテナ漁り」行為と刑法による財産の保護	……………上 野 純 也 (327)
刑事法研究会 同意傷害に関する良俗違反性判断	……………柏 崎 早 陽 子 (351)
【翻 訳】	
法治国家とパンデミックの統御 ——コロナ禍に直面する法治国家原理の日仏比較 (1) ——	……………大 津 浩 (371)
【資 料】	
昭和四九年商法改正と法制審議会商法部会 (四十四ノ三) ——小委員会審議を経て——	……………三 枝 一 雄 (403)

明治大学法律研究所